

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

三菱 UFJ ニコス株式会社（証券コード: -）

【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1+

■格付事由

- (1) 三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（MUFG）の完全子会社のクレジットカード会社。会員事業、加盟店事業、受託事業などを展開しており、各分野で国内トップクラスのプレゼンスを誇る。MUFG グループとは資本、人事、営業、資金調達などの各面で密接な関係を構築している。当社は同グループにおいて決済事業領域の中核を担うなど戦略上の重要性は高く、同グループとの事業の結び付きは強い。これらを踏まえ、当社の格付は、同グループのグループ信用力と同水準としている三菱 UFJ 銀行の長期発行体格付「AA/安定的」の1ノッチ下としている。
- (2) 同グループを通じた顧客基盤などを強みに国内トップクラスの会員数や加盟店網を有する。カードショッピング取扱高は順調に拡大しているほか、ショッピングリボ・分割残高も着実に積み上げている。一方で、従前から取り組んでいたシステム統合計画を抜本的に見直したため、19/3 期に 1,486 億円の減損損失を計上した。今後のシステム統合にかかるコストなどについては不透明であるうえ、システム統合が完了するまでには相応の時間を要すると想定される。もっとも、今後も同グループから適時適切な支援が期待できると JCR は判断している。
- (3) カードショッピングの業容拡大に伴い、連結営業収益は増加基調で推移している。一方で、利息返還損失引当金の追加繰入などにより、19/3 期の連結経常損益は 66 億円（前期比 112 億円減）の赤字となった。もっとも、システム統合費用の負担が重く、貸倒関連費用も増加傾向にあることから、近年の経常利益水準は利息返還損失引当金の繰入を除いても弱含んでおり、今後も下方圧力がかかると JCR はみている。
- (4) 債権の質はおおむね良好である。延滞債権比率や貸倒償却率はかつての水準よりも低位で安定している。ただし、弁護士介入債権が増加しつつある点には留意する必要がある。利息返還金については、返還請求件数や利息返還実績が減少傾向となっているが、そのペースはやや緩やかである。19/3 期には引当金の追加繰入を行っており、当面はそれによって対応可能と JCR はみている。
- (5) 連結自己資本比率は 19 年 3 月末で 2.4%（18 年 3 月末 7.4%）である。19/3 期のシステム統合計画見直しにかかる減損損失により、自己資本は大幅に毀損した。ただし、20/3 期に子会社を売却したことなどにより、自己資本比率は改善する見込みである。今後も資本充実度を一層改善していけるか JCR は注視していく。流動性に特段の懸念はない。三菱 UFJ 銀行を中心に強固な間接調達基盤を構築している。

（担当） 大山 肇・浅田 健太

■格付対象

発行体：三菱 UFJ ニコス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	6,000 億円	J-1+

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2019年10月28日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：大山 肇
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「信販・クレジットカード」(2013年7月1日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2019年3月29日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 三菱UFJニコス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル